



議会として取り組むべきことは

開業効果を最大限に活かし
まちの活性化と人口減少対策を！

町民の方から多数のコメントを頂いた中で新幹線開業を祝う声がある一方、将来に向け人口減少等により町の

将来を不安視する声も多くありました。我々議会としても、課題解決に向け町行政と一体となった取り組み

みを行い、町民が満足し期待あふれる木古内町となるように議会運営を進めていきます。

開業効果を継続するポイントとは？

開業1ヶ月を過ぎた現在も木古内駅周辺は、乗降客や観光客で賑わっています。この開業効果を継続するポイントとして4点にまとめました。

①新幹線乗降客の取り込み

東京方面から来られる方をいかに木古内駅で降りていただくかが課題です。二次交通の利便性やいさりび鉄道の魅力発信、更には料金の差異等を積極的にPRしていくことが重要です。

②観光客の呼び込み

木古内町は、早くから広域観光に力を入れています。我が町の「まち歩き」の整備と合わせ、渡島檜山近隣9町村との連携が不可欠です。近隣町村の魅力を観光業者のツアーに取り組み、木古内駅の乗降率をどこまで増やせるかが重要です。

③町内業者の活性化！

観光客や来町されるかたは、道の駅「みそぎの郷きこない」に立ち寄ります。その賑わいを町内全域に広げていくことが課題です。常駐している観光コンシェルジュには、観光案内と同時に町内業者の活用推進が求められます。

④大胆な人口減少対策の施策を！

新幹線をはじめ我が町には、多くの立派な施設ができました。施設の維持やまちの存続の為に、人口減の歯止めが最重要課題です。高規格道路の開通（平成31年予定）で、益々インフラが整備され、函館市内も通勤圏となります。空き家も

活用した移住に対する施策が、人口減少対策の要となります。大胆かつ効果的な施策の実行を提案し続けることが重要です。

町民の声～新幹線開業を迎え～

木古内地区

小学6年 市戸 航生

実際に新幹線に乗ってみると見ていたよりも、とても早く感じました。また、乗りたいので陸上の全国大会目指して頑張ります。

札苺地区

中学1年 澤口 怜真

中学生になったら全国大会に新幹線で行ってみたいです。それと、普段なかなか乗る機会が無いので、町長に子どもたち皆を乗せてほしいです。